

平成24年度

坂井市立三国病院改革プラン評価書

平成26年2月

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会

◆ はじめに

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会は、坂井市立三国病院改革プラン(以下「改革プラン」という。)の点検・評価を実施した。
評価にあたっては、改革プランに掲げる項目の数値目標について、坂井市立三国病院が行った自己評価を基礎として次の4段階評価基準による評価を行った。

<評価説明>

評価	評価の基準
評価 A	計画、目標数値を大きく上回った
評価 B	計画、目標数値をほぼ達成した
評価 C	計画、目標数値をやや下回った
評価 D	計画、目標数値を大きく下回った

1. 全体評価

坂井市立三国病院は平成21年3月に改革プランを策定し、その達成を進めるためとして経営効率化の数値目標を定めて具体的な取組みを進めてきた。

その結果、【表1】のとおり平成24年度は改革プラン目標値を下回った項目数が殆どであり、全体としては目標数値をやや下回ったと評価されるが、大きく下回った項目もあり、今後一層の努力を求めるものである。

2. 個別評価

財務数値の達成状況については、6項目中5項目を評価C、1項目を評価Dとした。収入の確保については、5項目中1項目を評価B、2項目を評価C、2項目を評価Dとした。支出の削減・抑制については、3項目すべてを評価Cとした。

【表1】
市立三国病院改革プラン評価表(経営効率化指標総括表)

(1) 減価償却費・繰延勘定償却を含む場合

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度 実績	平成24年度		病院自己評価	評価委員会評価
		目標値	実績		
経常収支比率(99.4以上) (%)	96.0	96.9以上	90.9	C	C
医業収支比率(90.6以上) (%)	89.0	93.5以上	84.2	C	C
職員給与費比率(59.1以下) (%)	54.4	54.0以下	58.4	C	C
材料費比率(24.6以下) (%)	18.6	17.9以下	18.6	C	C
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	8.9	9.0以下	9.4	C	C
病床利用率(74.8以上) (%)	70.5	79.8以上	65.6	D	D

(2) 減価償却費・繰延勘定償却を除く場合

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度 実績	平成24年度		病院自己評価	評価委員会評価
		目標値	実績		
経常収支比率(99.4以上) (%)	105.2	105.6以上	100.4	C	C
医業収支比率(90.6以上) (%)	97.6	102.2以上	93.4	C	C
職員給与費比率(59.1以下) (%)	54.4	54.0以下	58.4	C	C
材料費比率(24.6以下) (%)	18.6	17.9以下	18.6	C	C
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	8.9	9.0以下	9.4	C	C
病床利用率(74.8以上) (%)	70.5	79.8以上	65.6	D	D

2. 収入の確保

財務数値目標項目	前年度実績	平成24年度		病院自己評価	評価委員会評価
		計画値	実績		
1日当たり入院患者数 (※1) (人)	74.0	80.0	68.8	D	D
1人1日当たり入院診療単価 (※2) (円)	32,175	31,800	30,438	C	C
病床利用率(対105床) (※3) (%)	70.5	79.8	65.6	D	D
1日当たり外来患者数 (人)	297.4	300.0	290.2	C	C
1人当たり外来診療単価 (円)	7,476	7,500	7,685	B	B

(※1) 1日当たり入院患者数＝(在院年患者数＋退院年患者数)÷年間日数

(※2) 1人1日当たり入院診療単価＝入院収益÷(在院年患者数＋退院年患者数)

(※3) 病床利用率＝(在院年患者数＋退院年患者数)÷105床

3. 支出の削減・抑制

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度実績	平成24年度		病院自己評価	評価委員会評価
		計画値	実績		
職員給与費比率(59.1以下) (%)	54.4	54.0以下	58.4	C	C
材料費比率(24.6以下) (%)	18.6	17.9以下	18.6	C	C
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	8.9	9.0以下	9.4	C	C

【表2】

市立三国病院改革プランの具体的取組状況

1. 民間的経営手法の導入

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
調理部門の委託	平成22年4月から献立・食材料発注を除く調理部門の委託を実施した。委託により調理師の安定的人員確保が可能となった。(災害時において病院給食の優先提供内容とする契約)	献立、食材料を除く調理部門の委託を継続的实施を推進する。(継続)

2. 事業規模・形態の見直し

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
現診療体制の維持 (地方公営企業の一部適用維持)	非常勤診療科の常勤医師確保のため、大学医局や県への医師派遣を要請した。 (脳神経外科、麻酔科、放射線科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科の各大学医局への要請)	当院に限らず、地域医療機関の医師不足は全国的な問題となっているが、引き続き各大学医局への要請(継続)

3. 経費削減・抑制対策

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
委託業務契約の見直し	長期継続委託業務契約の点検・見直しを図った。	電子カルテや医用画像システム等の医療情報システム更新に際して、その保守料の削減を図る。
薬品価格の削減	コンサルタント会社に購買監査を委託して、23年度から12%の削減を図り、24年度も前年度同様継続的削減を行った。	全国自治体病院協議会による医薬品や医療材料の共同購入事業を引き続き要請する。
医療材料価格の削減	コンサルタント会社に購買監査を委託した結果、高額な材料が少なく、また適正価格の品数が全体の90%程度であり適正であるとの評価を得て、この水準の維持に努めた。	
医療機器購入検討委員会の設置	医療機器購入検討委員会を開催し、機器購入の厳選を図った。	継続して検討委員会を開催し、機器購入の厳選を図る。
事務局職員の会計間人事交流による人件費抑制	事務局職員人件費額を著しく削減する内容の会計間人事異動ではなかった。	今後も人事担当課に協力要請を図る。

4. 収入増加・確保対策

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
看護配置体制10対1の維持	* 平成20年6月から看護配置体制10対1を実施継続し、入院基本料10対1の維持に努めた。	看護師の不足は依然として続いており、看護職員の随時募集するなど看護師の安定的確保を図る。
人間ドック・健診等の拡充	日帰りドック及び健診受入日の増設に努めた結果、人間ドック契約健康組合等数の増加や妊婦検診などの制度改正も加わり、受託検査収益や公衆衛生活動収益が増加した。	人間ドック・健診事業の継続的实施を図る。
ベッドコントロールによる病床利用率の向上	平成23年4月に医療ソーシャルワーカーを2名採用した。平均在院日数が短縮し、16～17日で推移している。入院患者数の減少により、病床利用率は低下した。	引き続き、適正な退院調整等を行い、平均在院日数の短縮、病床利用率の向上を図る。
診療報酬等研修会	平成24年4月の診療報酬改定に伴い、全職員を対象に研修会を開催した。	今後も診療報酬が改定される際は研修会を開催し、情報の共有化を図る。

5. その他

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
職員の資質向上	職員の専門性や知識の向上を図るため、各種院内研修を全体及び職種別に実施し、学会等への積極的参加を促し、多くの職員が参加した。	引き続き、研修の開催、学会等への参加を促す。
地域医療連携の環境整備	平成23年度より地域医療連携係を地域医療連携室に転換し、医療ソーシャルワーカーを2名配置し地域医療連携の充実を図った。	看護師が兼任で対応しているが、人員を確保し充実した体制を整え、地域医療連携の充実を図る。
医師及び看護師の負担軽減	医療ソーシャルワーカーの採用及び臨床検査技師による超音波診断検査実施により、医師及び看護師の継続的負担軽減を図った。	引き続き、医師及び看護師の継続的負担軽減を図る。
医師の確保	内科医1人を新たに採用するとともに、平成25年度には県から産婦人科医が1年間派遣される予定	医師確保のために広報活動並びに県等の関係機関に継続的に要請する。

3. 評価委員の主な意見

- 2025年モデルとしての病床機能再編に向けた方向性が取り示されておらず、もっと危機感をもって取り組む必要がある。
- 病院で働く人の幸福度を高める施策を行うことにより、病院が提供するサービスの向上につなげていく必要がある。
- 時代に応じた施策が必要。建設時から課題になっている項目も現段階で再考するなどの工夫が重要である。
- 改革プラン取り組み状況が昨年度と変わっていない。年度ごとに課題を持って対応する必要がある。

【決算資料】

坂井市立三国病院経営データ

1. 職員の状況

【単位：人】

職種	平成23年3月31日現在		平成24年3月31日現在		平成25年3月31日現在		平成25年4月1日現在	
	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員
医師	11	20	11	21	12	17	13	16
薬剤師	4	1	4	1	4		4	
放射線技師	4		3		3		4	
臨床検査技師	5	3	6		4	1	5	
管理栄養士	1		1		1		1	
栄養士		1		1		1		1
理学療法士	1		1		2		2	
作業療法士	1		1		1		1	
言語聴覚士	1		1		1		1	
臨床工学技士							1	
視能訓練士	1		1		1		1	
看護師・助産師	53	9	55	9	54	9	52	8
准看護師	8	4	9	2	7	4	7	3
事務職員	6	9	6	9	7	9	8	8
オペレーター		1		1				
医療ソーシャルワーカー			2		2		2	
看護助手	3	13	3	13	3	14	3	14
調理師								
調理師助手								
用務員	1		1		1			
雑仕婦		2		2		3		3
合計	100	63	105	59	103	58	105	53

2. 医師の状況

【単位:人】

職種	平成23年3月31日現在		平成24年3月31日現在		平成25年3月31日現在		平成25年4月1日現在	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
内科	3		3		4	4	4	4
(循環器科)		3		3		2		2
(腎臓内科)		1		1		1		1
(呼吸器科)		1		1		1		1
(内分泌代謝科)		2		1				
小児科	1	1	1	1	1	1	1	1
外科	3		3		3		3	
整形外科	2		2		2		2	
脳神経外科		2		2		2		2
皮膚科		2		2		2		1
泌尿器科		2		3		2		2
産婦人科	1		1		1		2	
眼科	1		1		1		1	
耳鼻咽喉科		3		4		3		3
放射線科		3		3		3		3
合計	11	20	11	21	12	17	13	16

3. 診療科別収益状況(入院) <消費税込>

【単位:人、千円】

診療科	年度	平成23年度決算(A)		平成24年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益
内 科		12,960	389,905	12,470	344,906	△ 490	△ 44,999
外 科		4,197	156,660	3,442	130,175	△ 755	△ 26,485
小 児 科		792	24,329	847	25,791	55	1,462
産 婦 人 科		2,012	111,560	1,994	102,679	△ 18	△ 8,881
整 形 外 科		5,181	164,489	4,520	136,667	△ 661	△ 27,822
脳 神 経 外 科		26	583	0	0	△ 26	△ 583
眼 科		338	27,863	359	28,048	21	185
泌 尿 器 科		0	0	0	0	0	0
合 計		25,506	875,389	23,632	768,266	△ 1,874	△ 107,123

※ 延べ患者数は在院患者数を指す。

4. 診療科別収益状況(外来) <消費税込>

【単位:人、千円】

診療科	年度	平成23年度決算(A)		平成24年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益
内 科		25,418	201,173	24,656	201,707	△ 762	534
透 析 内 科		5,532	172,325	5,518	170,090	△ 14	△ 2,235
外 科		4,097	36,902	3,986	35,585	△ 111	△ 1,317
小 児 科		14,085	48,559	12,552	41,872	△ 1,533	△ 6,687
産 婦 人 科		8,074	38,219	7,558	37,211	△ 516	△ 1,008
整 形 外 科		11,292	71,441	11,562	75,319	270	3,878
脳 神 経 外 科		1,801	10,942	1,743	11,128	△ 58	186
眼 科		7,536	35,855	7,171	35,126	△ 365	△ 729
耳 鼻 咽 喉 科		4,342	16,776	4,466	17,059	124	283
皮 膚 科		3,212	8,572	3,126	8,482	△ 86	△ 90
泌 尿 器 科		2,038	13,863	2,110	16,317	72	2,454
合 計		87,427	654,627	84,448	649,896	△ 2,979	△ 4,731

5-1. 平成21～24年度の損益状況・経営指標(減価償却費・繰延勘定償却を含む場合) <消費税抜>

(単位:千円)

項 目	平成21年度 (実績)	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績) (A)	平成24年度 (計画) (B)	比 較 (A)-(B)
医業収益	1,667,626	1,695,101	1,686,333	1,574,207	1,723,314	△ 149,107
入院収益	855,156	891,302	871,679	764,683	928,560	△ 163,877
外来収益	678,501	659,367	653,627	648,962	657,000	△ 8,038
その他医業収益	133,969	144,432	161,027	160,562	137,754	22,808
(うち一般会計負担金)	63,102	66,983	76,415	80,831	74,831	6,000
医業外収益	150,515	146,683	228,479	208,497	150,125	58,372
(うち一般会計負担金)	138,783	140,697	138,133	198,833	141,384	57,449
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,818,141	1,841,784	1,914,812	1,782,704	1,873,439	△ 90,735
医業費用	1,837,116	1,871,625	1,894,714	1,868,730	1,842,122	26,608
給与費	913,867	896,720	917,041	919,120	929,546	△ 10,426
材料費	309,401	316,840	313,758	292,922	308,200	△ 15,278
(うち薬品費)	149,217	149,554	151,939	147,255	154,000	△ 6,745
経費	436,745	486,890	492,875	468,931	442,713	26,218
減価償却費	172,935	167,098	167,394	183,943	156,746	27,197
その他医業費用	4,168	4,077	3,646	3,814	4,917	△ 1,103
医業外費用	201,699	196,726	99,866	93,006	90,621	2,385
支払利息	67,352	65,389	63,350	61,692	60,971	721
繰延勘定償却	106,279	101,646	7,033	2,783	1,227	1,556
その他医業外費用	28,068	29,691	29,483	28,531	28,423	108
経常費用(医業費用+医業外費用)	2,038,815	2,068,351	1,994,580	1,961,736	1,932,743	28,993
経常損益	△ 220,674	△ 226,567	△ 79,768	△ 179,032	△ 59,304	△ 119,728
特別損失	491	29,072	2,748	1,677	2,200	△ 523
純損益	△ 221,165	△ 255,639	△ 82,516	△ 180,709	△ 61,504	△ 119,205

5-2. 平成21～24年度の損益状況・経営指標(減価償却費・繰延勘定償却を除いた場合) <消費税抜>

(単位:千円)

項目	平成21年度 (実績)	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績) (A)	平成24年度 (計画) (B)	比較 (A)-(B)
医業収益	1,667,626	1,695,101	1,686,333	1,574,207	1,723,314	△ 149,107
入院収益	855,156	891,302	871,679	764,683	928,560	△ 163,877
外来収益	678,501	659,367	653,627	648,962	657,000	△ 8,038
その他医業収益	133,969	144,432	161,027	160,562	137,754	22,808
(うち一般会計負担金)	63,102	66,983	76,415	80,831	74,891	5,940
医業外収益	150,515	146,683	228,479	208,497	150,125	58,372
(うち一般会計負担金)	138,783	140,697	138,133	198,833	141,384	57,449
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,818,141	1,841,784	1,914,812	1,782,704	1,873,439	△ 90,735
医業費用	1,227,436	1,654,382	1,721,335	1,851,959	1,685,630	166,329
給与費	913,867	896,720	917,041	1,086,291	930,000	156,291
材料費	309,401	316,840	313,758	292,923	308,000	△ 15,077
(うち薬品費)	149,217	149,554	151,939	147,255	154,000	△ 6,745
経費		436,745	486,890	468,931	442,713	26,218
減価償却費						
その他医業費用	4,168	4,077	3,646	3,814	4,917	△ 1,103
医業外費用	95,420	95,080	92,833	90,223	92,000	△ 1,777
支払利息	67,352	65,389	63,350	61,692	60,971	721
繰延勘定償却						
その他医業外費用	28,068	29,691	29,483	28,531	28,423	108
経常費用(医業費用+医業外費用)	1,322,856	1,749,462	1,814,168	1,942,182	1,777,630	164,552
経常損益	495,285	92,322	100,644	△ 159,478	95,809	△ 255,287
特別損失	491	29,072	2,748	2,748	1,677	1,071
純損益	494,794	63,250	97,896	△ 162,226	94,132	△ 256,358

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 名 等
委員長	田 中 千 賀 子	坂井市議会 生活福祉常任委員会 委員長
〃	宮 崎 茂 則	坂井地区医師会 三国ブロック代表
〃	三 宅 小 百 合	三国自治区地域協議会代表
〃	廣 瀬 和 郎	坂井市立三国病院長

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 開催経過

開 催 日	議 題
平成26年2月20日(木)	委員長の選出 平成24年度改革プランの点検・評価について